



“文化の力で奈良を元気に！”をテーマに 「奈良県大芸術祭」開催中

奈良県では、文化芸術活動のさらなる発展を目的とした「奈良県大芸術祭」を開催している。

期間は9月1日(木)～11月30日(水)までの3か月間。奈良県内各地において、美術・音楽・演劇・芸能・舞踊・映画・その他様々なジャンルのイベントが開催されている。

■「奈良県大芸術祭」の内容

今回で3回目を迎える奈良県大芸術祭。回数を重ねるごとに、より多くの方が参加し、昨年度は延べ122万人が参加している。

荒井知事は「『奈良県大芸術祭』という多様な芸術や文化に触れる機会を通して、関わったすべての人が明日への活力となるような楽しいエピソード記憶(*)を作ってもらえることを願っている」と語っている。

(*)「エピソード記憶」とは、個人が体験した出来事の記憶で、時間や場所および感情を伴った記憶のこと

◆注目イベント

○やなぎみわ「折口信夫の夢は夜ひらく」

移動舞台車でのアートなステージ

日時：9月24日(土)・25日(日)

会場：24日 奈良県庁前

25日 まほろばキッチン(橿原市)

内容：台湾で出会った移動舞台車(ステージトレーラー)に魅せられた美術作家・演出家のやなぎみわ氏による夜間イベント。奈良を舞台に繰り上げられるアートなステージ。



日が落ちるにつれ、移動舞台車のライトアップされた装飾が浮かび上がり、幻想的な雰囲気が漂う

○奈良県大芸術祭シンボルアート

～アーケード一面に繰り上げられる壮大な“紫舟の世界”で奈良を訪れるお客様をお迎えします～

日時：10月22日(土)～11月6日(日)

会場：近鉄奈良駅前

内容：国内外で活躍するアーティスト・紫舟氏の書を使った巨大な立体アート作品を近鉄奈良駅前広場の屋根に展示。初日には、紫舟氏も出演するオープニングセレモニーが行われる。



©masaaki miyazawa

○文化セミナー

「フォーラム・NARA ～文化を考える～」

日時：10月9日(日)・22日(土)

会場：奈良春日野国際フォーラム薨

内容：「世界が認める奈良の魅力とは?」「奈良の文化資源をどう活用すべきか?」などをテーマに、今後、奈良が取り組むべき文化戦略を考えるシンポジウムをシリーズで開催。

※詳しくはホームページ <http://nara-arts.com/>

■平成28年度の方向性(県HPから)

これまでの「奈良県大芸術祭」のテーマやコンセプトを踏襲し、イベント展開を図っていく。

平成29年9月1日～11月30日に「第32回国民文化祭・なら2017」、「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の一体開催が決定していることから今年の「奈良県大芸術祭」をプレイベントと位置づけ、大会の知名度を高めるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでを見据えた取組で、奈良県の文化力向上を図る。

県内各地での催事が好評とのこと、観光客が広く県内の魅力を知るきっかけになることを望む。

(奥 桂子)